

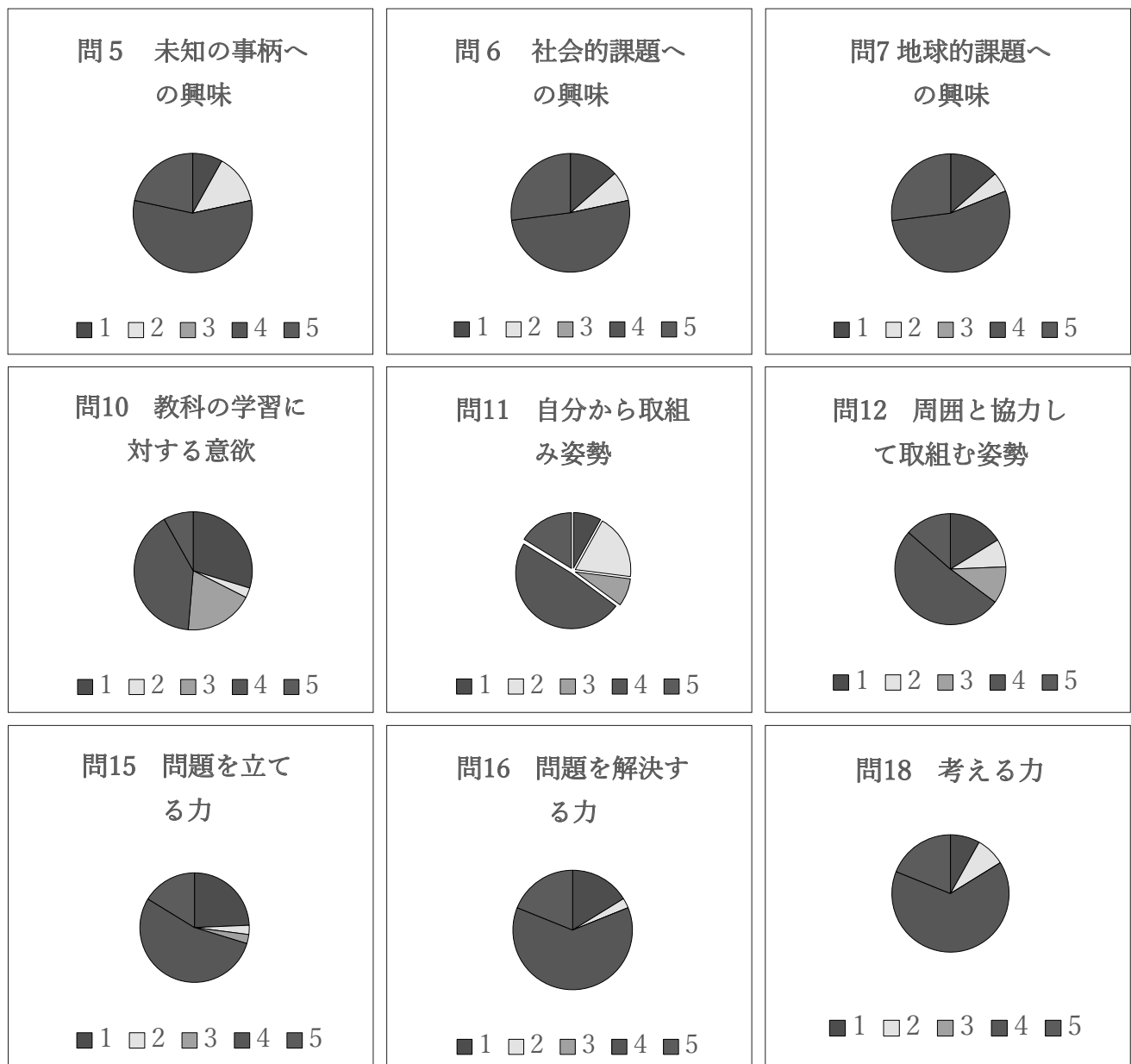
個別の項目による教員評価

三小田 博 昭

7-2では、5年間を振り返った相対的な教員評価であるが、7-2では、興味深い個別の質問項目を取り上げてみた。

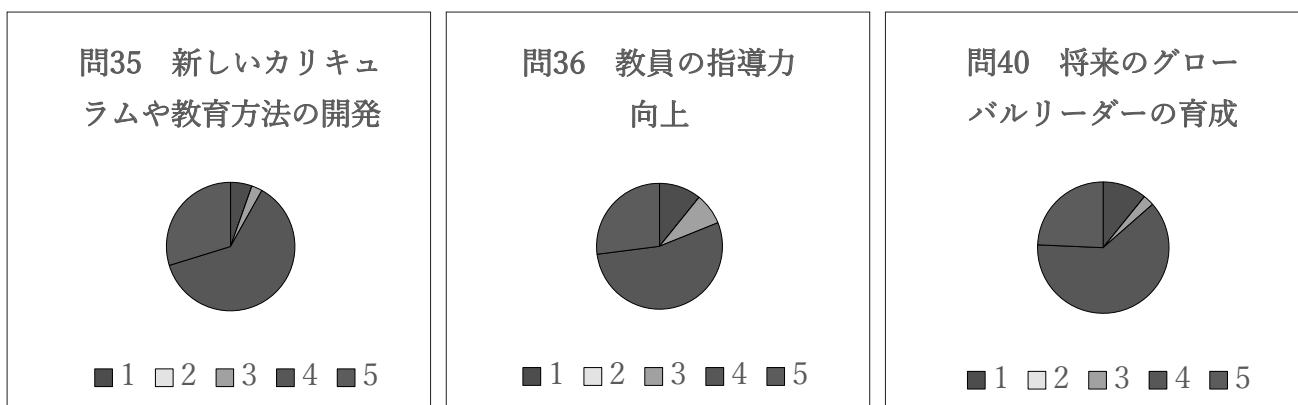
(生徒の興味・姿勢・能力)

1：分からない、2：もともと高かった、3：効果がなかった、4やや向上した、5大変向上した

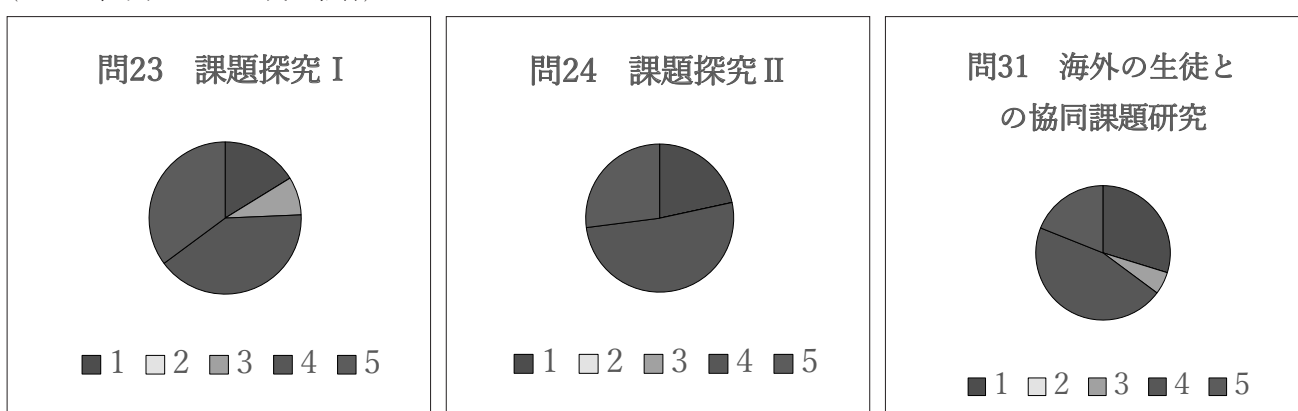


(SGH取り組みの効果)

1：分からない、2：まったく効果がなかった 3：あまり効果がなかった、4 やや効果があった、5 大変効果があった

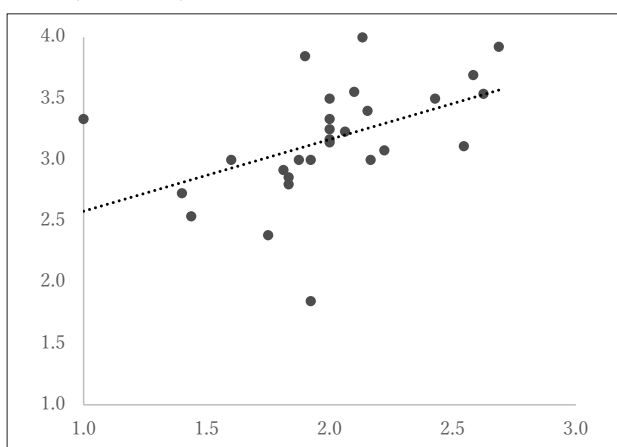


(SGHの取り組みによる良い影響)



7-3 相関関係

生徒の興味・姿勢・態度とSGHの取り組みの効果との関連 (修正得点)

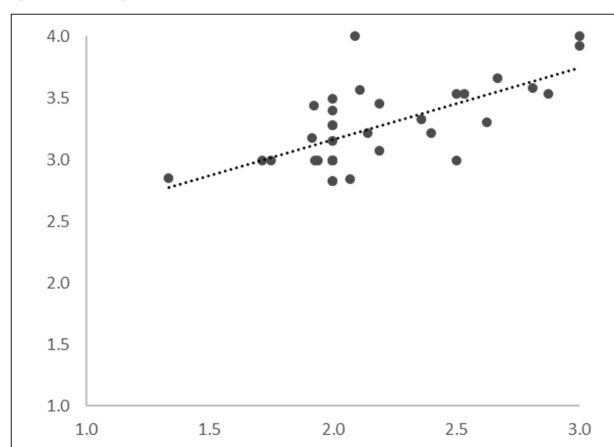


○生徒の興味・姿勢・態度を横軸に、SGHの取り組みの効果縦軸にとったときの散布図と回帰直線。

○SGHに指定されたことで生徒の興味・姿勢・態度が向上したと認知している、SGHの取り組みを高く評価する傾向にあることがわかる。

○相関係数は0.665

生徒の興味・姿勢・態度とSGHによる良い影響との関連 (修正得点)

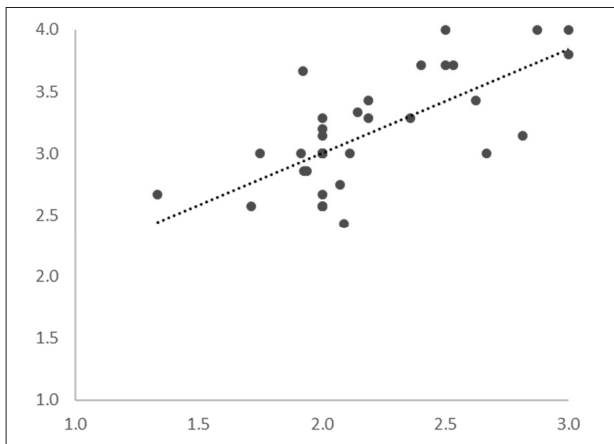


○生徒の興味・姿勢・態度を横軸に、SGHによる良い影響縦軸にとったときの散布図と回帰直線。

○生徒の興味・姿勢・態度を高く評価していると、SGHの取り組みが良い影響をもたらそうだと期待していることがわかる。

○相関係数は0.704。

**SGHの取り組みの効果とSGHによる良い影響との関連
(修正得点)**



○SGHの取り組みの効果を横軸に，SGHによる良い影響を縦軸にとったときの散布図と回帰直線。

○SGHの取り組みを高く評価していると，SGHによる良い影響を期待していることがわかる。

○相関係数は0.446。

各質問項目群の記述統計量 (平均・標準偏差・相関係数)

	平均	SD	生徒	効果	影響
生徒の興味・姿勢・態度の向上	2.177	0.369	1.000		
SGHの取り組みの効果	3.274	0.327	0.665	1.000	
SGHによる良い影響	3.153	0.439	0.704	0.446	1.000
グローバル化	3.343	0.639	0.331	0.111	0.440

相関係数の解釈の目安

- 0.0 ～ 0.2 無相関
- 0.2 ～ 0.3 ほとんど相関なし
- 0.3 ～ 0.4 弱い相関
- 0.4 ～ 0.6 中程度の相関
- 0.6 ～ 0.8 強い相関
- 0.8 ～ 1.0 非常に強い相関

(文責 三小田博昭)